

## その他刊行物

- 1 2021年 単著 「序ーコロナ禍の中での農大教育の集大成、卒業論文は未来に繋がるー」『京都府立農業大学校紀要』(第409号)、3月。
- 2 2021年 単著 令和3年第70回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月、p.25。
- 3 2021年 単著 「令和3平 年頭所感:ポストコロナの新時代に向け地道に展開」『あやべ市民新聞』1月1日、p.2。
- 4 2020年 単著 「序ー農大教育の纏である卒業論文は次のステップに活かされるー」『京都府立農業大学校紀要』(第39号)、3月。
- 5 2020年 単著 令和2年第69回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月、p.25。
- 6 2020年 単著 「令和2平 年頭所感:新しい時代に向けて地道な展開を」『あやべ市民新聞』1月1日、p.2。
- 7 2019年 単著 「ごあいさつ」『同窓会だより』(第16号)、5月、p.2。
- 8 2019年 単著 「序ー帰納的アプローチで卒業論文を次のステップへ活かそうー」『京都府立農業大学校紀要』(第38号)、3月。
- 9 2019年 単著 「ごあいさつ」『同窓会だより』(第16号)、2月、p.2。
- 10 2019年 単著 平成31年第68回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月、p.20。
- 11 2019年 単著 「平成30年 年頭所感:新しい時代に向けて地道な展開を」『あやべ市民新聞』1月1日、p.2。
- 12 2018年 単著 ブックガイド「上杉孝・香川正弘・河村能夫(編著)『大学はコミュニティの知の拠点となれるかー少子化・人口減少時代の生涯学習』(ミネルヴァ書房、2016年)」
- 13 2018年 単著 「序ー次のステップにつながる卒業論文ー」『京都府立農業大学校紀要』(第37号)、3月。
- 14 2018年 単著 平成30年第67回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月。
- 15 2017年 単著 「佐藤寅次君の思い出」『洛友会だより』第3号、京都大学農学部洛友会、12月、p.19。
- 16 2017年 単著 「はじめに」戸田典樹編『チェルノブイリ原発事故被害者と阪神・淡路大震災被災者のインタビュー調査から福島原発事故避難者を考える』(日本学術振興会科研費基盤研究(B)(課題番号15H03109)及び(C)(課題番号15H03935))、神戸親和女子大学、2017年、3月、p.1。
- 17 2017年 単著 「序ー京都府立農業大学校の卒業論文と自己評価ー」『京都府立農業大学校紀要』(第36号)、3月。
- 18 2017年 単著 「ごあいさつ」『同窓会だより』(第15号)、2月、p.2。
- 19 2017年 単著 平成29年第66回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1

月、p.20。

- 20 2016年 単著 「序—京都府立農業大学校の卒業論文とPDCA—」『京都府立農業大学校紀要』(第35号)、3月。
- 21 2016年 単著 平成28年第65回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月、p.17。
- 22 2015年 単著 「コラム 対岸の火事」『危険物新報大阪』(第2号)、大阪市危険物協会、6月20日、p.1。
- 23 2015年 単著 「序—京都府立農業大学校の卒業論文の意義—」『京都府立農業大学校紀要』(第34号)、3月。
- 24 2015年 単著 平成27年第64回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月、p.20。
- 25 2014年 単著 「ごあいさつ」『同窓会だより』(第14号)、12月、p.2。
- 26 2014年 単著 「序—京都府立農業大学校の教育の特徴—」『京都府立農業大学校紀要』(第33号)、3月。
- 27 2014年 単著 「北原先生を偲ぶ」『日本村落研究学会 研究通信』(No.239)、2月、pp.16-17。
- 28 2014年 単著 平成26年第63回『新成人の皆様へのお祝いメッセージ』綾部市教育委員会、1月、p.16。
- 29 2012年 共著 「持続可能な地域発展とは？」『龍谷』No.72、9月、pp.36-37。
- 30 2012年 単著 「グローバル化時代における日本の大学発展と事務職員の役割—龍谷大学の積み重ねを事例として—」『2011年度事務職員合宿研修報告書』(龍谷大学)、7月、pp.15-53。
- 31 2012年 共著 「飛翔—REC20年の歩み・そして未来—」『進取』(REC設立20周年記念誌)、龍谷エクステンションセンター、3月。
- 32 2012年 単著 「NPO・地方行政研究コース生に期待されるもの:『存在の拘束性』を克服する」『龍谷大学大学院 NPO/地方行政研究コース ニュースレター、グローバル通信』Vol.24、3月。
- 33 2012年 単著 「アジア・アフリカの『現場』から日本が見える、自分が見える」『Ryukoku AA Studies News Letter』Vol.5、3月。
- 34 2011年 単著 「おわりに」『事務職員海外高等教育研修報告書』龍谷大学、7月、198-199。
- 35 2011年 単著 「東日本大震災に関する声明」『日本村落研究学会 研究通信』No.231、6月、pp.1-2。
- 36 2010年 単著 「新会長挨拶」『日本村落研究学会 研究通信』No.227、2月、pp.1-2。
- 37 2009年 共著 「社会が求める学士課程教育」『龍谷』No.67、龍谷大学、3月、pp.1-5。
- 38 2008年 単著 「龍谷大学大学院アジア・アフリカ総合研究プログラム:地域研究と専門教育の2本柱」(インタビュー)『国際協力ガイド2010』国際開発ジャーナル、10月、pp.166-167。
- 39 2008年 単著 「大学と教員の視点から見たキャリア教育—水平統合・帰納的教育への転換—」『IKYEI NEWS』Vol.44、電通育英会、10月、p.22。
- 40 2008年 共著 「大学のトップインタビュー:『綜藝種智院式并序』(828年)に書かれた空海の理想の学校を基礎とし、総合人文型の総合教育をめざす種智院大学—種智院大学学

長頼富本宏』『大学創造』(高等教育研究会)、第 21 号、8 月、pp.4-11。

- 41 2007 年 単著 「教員から—採択を受けて考慮すべき 3 つのファクター—」『グローバル通信』Vol.7 (龍谷大学大学院 NPO・地方行政研究コース)、10 月、p.3。
- 42 2007 年 単著 「一期一会～こころに残る卒業生～ 必要は教育の母」『龍谷大学メールマガジン』xxx
- 43 2007 年 共著 「FD 紹介 EMU・FD センター長カレン・ブッシュ博士インタビュー」『大学教育開発センター通信』Vol.15、5 月、p.8。
- 44 2007 年 単著 「就任にあたってのご挨拶」『大学教育開発センター通信』Vol.15、5 月、p.1。
- 45 2007 年 単著 「第 16 号発刊に際して」『龍谷大学国際センター年報』第 16 号、3 月、pp.1-3。
- 46 2006 年 単著 “Ryukoku University Berkeley Center (RUBeC) Opens in JSC,” Wheel of Dharma (Official Publication of the Buddhist Churches of America), Vol.32 issue 12, December 2006, p.3.
- 47 2006 年 単著 「学術論文には妥当性ある仮説と信頼性ある分析方法が要求される」『グローバル通信』Vol.3 (龍谷大学大学院 NPO・地方行政研究コース)、10 月、p.2。
- 48 2006 年 共著 「大学のトップインタビュー: 大学と企業の共同した経緯と目的—長浜バイオ大学学長下西康嗣」『大学創造』(高等教育研究会)、第 16 号、4 月。
- 49 2006 年 単著 「WTO と東アジアの農業戦略」(東西南北)『農業と経済』第 72 巻・第 4 号(昭和堂) 4 月。
- 50 2006 年 単著 「留学。そして、自分を知ろう。自分を磨こう。」『龍谷大学留学生ガイド』(2006-2007)、4 月、pp.1-2。
- 51 2006 年 単著 「第 15 号発刊に際して」『龍谷大学国際センター年報』第 15 号、3 月、pp.1-2。
- 52 2006 年 単著 「講評」『Sanga College 2005 活動報告書』(株式会社京都パープルサンガ)、2 月、pp.68-69。
- 53 2005 年 単著 「龍谷大学留学生別科 20 周年に際して」『留学生別科 20 年の歩み』(龍谷大学留学生別科)、xx 月、p.1。
- 54 2005 年 単著 「21 世紀の高等教育と大学改革の在り方を考える—グローバル化の中の大学の役割—」『高等教育研究会ニューズレター』No.41 (高等教育研究会)、5 月、pp.1-2。
- 55 2005 年 共著 「国際文化学部開設 10 周年を迎えて」(座談会: 松井賢一・信楽峻磨・御前進・上山大峻・須藤護)『龍谷』60 号、龍谷大学、3 月、pp.28-33。
- 56 2005 年 単著 「企業や地域社会の活力を創造する実践的なインターンシップを提案」(インタビュー)『Monthly Review 京』(京都商工会議所会報)、1-2 月、p.28。
- 57 2004 年 単著 「大学改革と高等教育研究会の役割—連携に基づく京都モデルの構築をめざして—」『高等教育研究会ニューズレター』No.xx (高等教育研究会)、4 月、pp.1-2。
- 58 2004 年 共著 「これからの国際協力は、官・民・学の智慧のコラボレーションで」(インタビュー: 五月女光弘・筒井のり子)『龍谷』57 号、龍谷大学、3 月、pp.20-23。
- 59 2003 年 単著 「龍谷大学」(インタビュー)『蛍雪時代』旺文社、7 月、pp.140-141。
- 60 2003 年 単著 「龍谷大学」(インタビュー)読売新聞大阪本社編『大学大競争』中公新書ラクレ、6 月、pp.53-57。
- 61 2003 年 単著 「おうみ新時代: 大学から地域へ世界へ エクステンションセンター 社会と連動す

る研究を』『読売新聞』1月14日(金)朝刊(滋賀版)。

- 62 2002年 単著 「東西本願寺門前町総合調査について」『学術コンソーシアム通信』(Vol.1)、大学コンソーシアム京都、8月、p.4。
- 63 2002年 単著 「ずばり:時代変わり 学生は消費者」『朝日新聞』8月9日(金)朝刊、p.25。
- 64 2002年 単著 「フォーカス・大学のみどころ 『共生をめざすグローバル大学』の構築・龍谷大学」『大学時報』No.284(日本私立大学連盟)3月、pp.124-25。
- 65 2001年 単著 「フレッシュマンに望む」『第22回体育局フレッシュマンキャンプ結果報告書』龍谷大学、7月、pp.7-11。
- 66 2000年 単著 「世界をフィールドに、足元からの変革」(インタビュー)『週刊文春』10月26日号、p.65。
- 67 2000年 単著 「My Opinion:グローバル化した経済の中で、社会人の専門性を磨く再教育のニーズが高まった」『Examiner』7月号(No.154)、6月、p.29。
- 68 2000年 単著 「農業の多面的機能評価形成の戦略を」(東西南北)『農業と経済』第66巻・第6号(富民協会/毎日新聞社)5月。
- 69 2000年 単著 「学生と教員それぞれの立場からの本学とは」(インタビュー)『龍谷大学新聞』504号、4月1日。
- 70 2000年 単著 「大学と地域の連携を求めて」『Trend & Report』(しがぎん調査レポート)No.252、2月号、p.3。
- 71 1999年 単著 「『地域社会とともにある大学』を実現する REC」(インタビュー)『龍谷』44号、龍谷大学、12月、pp.6-8。
- 72 1999年 単著 「新農基法で農業・農村は活性化するか」(インタビュー)『月刊AMJ』7月号、マーケティング・ジャーナル、pp.11-13。
- 73 1999年 共著 「21世紀の大学・龍谷大学」(インタビュー)『サンデー毎日』4月25日号、毎日新聞社、pp.136-139。
- 74 1996年 単著 「産学交流:地域産業の発展に寄与」(時のキーワード)『京都新聞』(朝刊)6月2日。
- 75 1996年 共著 「学生さんのまち京都?」(座談会)『どすねん』第6号(京都通信社)5月。
- 76 1995年 単著 「肩ならセクハラではない? -アメリカでのセクハラ対応をお手本に日本を考える-」『E b :い〜ふらっと』Vol.10(京都市文化市民局)8月。
- 77 1995年 共著 「アカデミック・インタビュー」(文部省高等局長吉田茂氏とのインタビュー)『京都・大学センター会報』NO.3(京都・大学センター)5月。
- 78 1994年 単著 「6兆円をどこまでストックとして生かせるか」(特集:農業対策6兆円で何が変わるか)『月刊OMJ』12月号マーケティング・ジャーナル)12月。
- 79 1994年 単著 「米国の大学のセクハラ対応」(インタビュー)(特集:キャンパス・セクシュアル・ハラスメントの構造と周辺)『大阪大学新聞』10月18日。
- 80 1994年 単著 「コメ自由化後の農村活性化」(水曜フォーラム)『京都新聞』(朝刊)9月21日。
- 81 1994年 単著 「食卓からアジアの人々を想う」(東西南北)『農業と経済』第60巻・第9号(富民協会/毎日新聞社)9月。
- 82 1994年 単著 「新刊紹介・著者からのメッセージ『アジアからみる・アジアをみる』」『経済セミナー

—』No.472(日本評論社)5月。

- 83 1992年 単著 「21世紀加悦ビジョンの確立を」『農村総合整備技術開発調査報告書:ひとと未来と夢・綾なす郷 加悦』国土庁地方振興局・京都府農林水産部 3月 pp.140。
- 84 1991年 共著 「環境危機と人類の選択」(宗教シンポジウム)『りゅうこく』第48号(龍谷大学宗教部)7月。
- 85 1990年 単著 「貧民街の子供達」『地域農業と農協』第20巻・第3号(農業開発研修センター)12月。
- 86 1990年 共著 「(創立 350周年記念学術シンポジウム)生命系の経済」『龍谷』第22号(龍谷大学)3月。
- 87 1990年 単著 「イサカ:大学を生み育てた街」『大学時報』第40巻・第216号(日本私立大学連盟)1月。
- 88 1986年 単著 「『意味のブラックホール化』社会での読書」『経済学の葉』(龍谷大学経済学部)4月。
- 89 1983年 単著 「知られざる大陸・アフリカに接して」『学会通信』第16号(龍谷大学経済・経営学会)1月。
- 90 1981年 単著 「苦悩するポーランドとの出会い」『学会通信』第15号(龍谷大学経済・経営学会)12月。
- 91 1981年 単著 「私と農業経済学」『経済学の葉』(龍谷大学経済学部)4月 pp.108-112。
- 92 1979年 単著 「米国の大学事情」『事務職員研修論集』第3号(龍谷大学)4月、pp.16-27。
- 93 1978年 単著 「自立を求めて:アメリカ留学生活八年を通じて」『学会通信』第12号(龍谷大学経済・経営学会)12月。
- 94 1969年 単著 「我々にとって大学闘争とは何か—「農経大学院会学報」の創刊にあたって—」『京都大学農経大学院学報』創刊号、12月、pp.1-9。